

別紙

事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	地域活性化措置	生ごみリサイクル処理事業	上越市	234,821,268	200,000,000	

(備考)事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	地域活性化措置	生ごみリサイクル処理事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		上越市		
交付金事業実施場所		上越市一円		
交付金事業の概要		生ごみリサイクル処理委託事業運営費(平成29年4月分～平成30年2月分) 市民が分別排出した生ごみをバイオマスとして利活用し、燃料化などを行うことでリサイクルを図ります。		
総事業費		234,821,268	交付金充当額 うち文部科学省分 うち経済産業省分	200,000,000 ----- 200,000,000
交付金事業の成果目標		上越市では、第6次総合計画で「ごみ減量・リサイクルの推進」を基本施策に掲げているほか、「バイオマスタウン構想」を策定し、環境施策として循環型社会の構築を推進しています。その一環として、生ごみをバイオマスとして利活用し、家庭から発生するごみの減量と再資源化を進め、環境の保全と資源の有効利用を図ります。		
交付金事業の成果指標		上記成果目標を達成するために、市内全域の家庭(約7万世帯)から排出される生ごみの再資源化(メタンガス発酵、セメント原燃料、有機肥料の製造)を進め、環境の保全と資源の有効活用を図ります。 なお、平成29年4月から平成30年2月までの11か月で約8,700tの処理を予定しています。		
交付金事業の成果及び評価		第6次総合計画で基本施策に掲げている「ごみ減量・リサイクルの推進」のほか、「バイオマスタウン構想」に基づき、廃棄物の再資源化に積極的に取り組む中で、市内全域の家庭(約7万世帯)から排出される生ごみについてもリサイクルを進めることができました。 排出された生ごみの量が想定より少なかったため、平成29年4月から平成30年2月までの11か月で処理した量は7,906.44tでしたが、食品廃棄物の削減は環境負荷低減にとって有用であり、本事業は環境の保全と資源の有効活用に寄与したと評価します。		
交付金事業の契約の概要				
契約の目的		契約の方法等	契約の相手方	契約金額
生ごみリサイクル処理		随意契約	上越バイオマス循環事業協同組合	234,821,268 (4月～2月分処理実績)
		計		234,821,268
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無		無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	該当なし